

印鑑

インカレ せうかしの字だ

あつかしい存在が かまかしくなつてい

印はあまう候甲さたなうていふが

定配候も印所在りるいりません

ところもあらし印をかかしす

といろく

命護ではとうぶう

へんがしか その日介護の状況をかいて

りかきあわると

何ごともなわつたふうか 玄楽近と

あつ印をさつと勝手にあつてい

んが印をことわりなく便甲さうか

イハエの何ぞ

サケラを具の料つていん

印を勝手にあしと料く9は得た

アアマテ

全真 夫き石 いん

紀罪たぞくす

ここはいつと 次々あわしいことホ

いづく 為にしてらんと

その由を くれ厚い世界

以前 「印」をもちておえつた へルム、~~か~~いた

今更なる「印」おけおとしおけ

存してしわれは二とを言うた 「へんたいら

一人もいなく

こういつた、へんたいら、社会と

かえようとしておと

手おゆ議はうやうらねる、けい

これに現在のお、けい、けい

あきれた といつておとが正なひ

灰まつて 貝おありす、の、かお一

2024
4/6